

# 保温力強化マルチの効果確認試験

JAなんぽろ

有限会社NOAH



## 試験目的

ほっとムラサキの効果確認

## 試験作物 及び品種

スイカ

## 試験資材 及び数量(規格)

ほっとムラサキ(0.025mm×150cm×200m) 1本

## 慣行資材

生分解性マルチ(150cm×200m) 透明

## 栽培方法

### 定植日

慣行区:6月上旬  
試験区:6月上旬

### 【栽植密度】

畝幅:350cm  
株間:90cm

## 資材使用期間

6月~9月

## 試験区面積

1,060㎡

## 試験結果

### (1)作業性について(慣行品との比較)

展張については、現行品と比較して差は見られなかった。

現行品が生分解性マルチだったこともあり、剥がす作業が発生した。

### (2)作物の生育状況または、収穫への影響

現行品と比較し、定植後の初期生育も良好で、雑草も抑制しているように感じた。

### (3)栽培管理上の優位点あるいは問題点について

【優位点】:保温効果、雑草抑制効果が高い。

### (4)資材の強度・耐久性・崩壊性について

慣行品との差は見られなかった。

### (5)促成・抑制効果について

慣行品との差は見られなかった。

### (6)保温効果について

慣行品にくらべ、保温効果は高く感じられた。

### (7)雑草・病害虫の発生について

慣行品にくらべ、雑草の発生は少なく感じられた。

## モニター感想

今回の試験において、慣行品と比較して初期生育の確保、雑草抑制効果が見られたが、天候の影響から慣行区、試験区ともほぼ収穫皆無となってしまったため、収量の比較ができず残念だった。

作業性を考えると紫の生分解性マルチがあるとよいと思う。

## JA担当者の感想(資材課 本間 氏)

今回の試験では、天候の影響から慣行区、試験区ともに収穫がほとんどできなかったため、十分な比較ができませんでしたが、初期生育の確保や雑草抑制などほっとムラサキの一定の効果は確認できたと思います。

## 今後の使用について

改良して欲しい。

生分解性マルチで紫色があるとよい。

1 栽培システム

2 敷設システム

3 製地フィルム

4 マルチ

5 不織布

6 育苗資材

7 防虫ネット

8 除菌資材

9 ICT機器

10 その他